

# 医師事務作業補助実務士資格認定及び称号使用規程

(総 則)

第 1条 この規程は、特定非営利活動法人日本医療福祉実務教育協会(以下「本協会」という)定款第5条(1)に規定する事業として、医師事務作業補助実務士の資格の付与と称号の使用要件を定めることを目的とする。

(資格の付与及び称号の使用)

第 2条 前条に規定する医師事務作業補助実務士の資格と称号の使用は、本協会則に規定する会員校でなければならない。

(資格の取得)

第 3条 医師事務作業補助実務士の資格を取得しようとする者は、次に示す所定の科目及び単位を修得し、会員校の大学・短期大学並びに専門学校(以下「大学等」という)に2年以上在学、もしくは卒業しなければならない。

【必修科目】(9科目16単位)

基礎医学関係科目

解剖生理学	講義	2 単位
臨床医学	講義	2 単位
医学と検査	講義	1 単位
公衆衛生学(医療法規を含む)	講義	2 単位

医療秘書関係科目

診療情報管理論	講義	2 単位
医療秘書実務	演習	2 単位
医療事務総論(安全管理を含む)	講義	2 単位
情報処理演習	演習	1 単位

医師事務作業補助関係科目

医師事務作業補助実務演習	演習	2 単位
--------------	----	------

(専任教員)

第 4条 専任教員は、次の各号によるものとする。

- ① 前条に規定する必修科目のいずれかに1名配置するものとする。但し、大学等の兼務は専任とみなす。
- ② 教員資格は、大学等の資格要件を準用する。

(施設及び設備)

第 5条 施設及び設備は、診療情報管理実務教育に必要な機能を持つものを備えるものとする。

(図書及び学術雑誌等)

第 6条 図書及び学術雑誌等は、診療情報管理実務教育に関する理論科目及び演習科目に必要なものを保有するものとする。

(実情調査)

第 7条 教育の実施状況について、必要に応じ随時実情調査を行うものとし、不適格と認めら

れた場合には、資格を交付しないことがある。

(認定証交付申請)

第 8条 本協会は、医師事務作業補助実務士の資格を取得しようとする者の、氏名及び履修科目等を記載した会員校の大学等の学(校)長の申請に基づき、本協会理事長名による医師事務作業補助実務士の認定証を交付する。

2 申請の期限は、申請年度の1月末日とし、認定証は、速やかに各会員校に送付する。

(資格認定料)

第 9条 資格認定料は、1件あたり 7,000円とする。ただし、医療秘書実務士資格申請と同時の場合は、1件あたり 5,000円とする。

(認定証)

第10条 認定証の様式は、別に定める。

(附 則)

第11条 この規程は、平成27年4月1日より施行する。